

公明党 参議院議員（埼玉選挙区）

前財務副大臣

矢倉かつお

News Letter

元農林水産大臣政務官 元法務委員長



No.27 令和6（2024）年12月発行  
発行元 矢倉かつおと未来を創る会

東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 401 号室  
TEL:03-6550-0401 FAX:03-6551-0401

## 公明党埼玉県本部新代表就任のご挨拶

参議院議員の矢倉かつおです。常日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。

12月2日、第16回公明党埼玉県本部大会が行われ、西田まこと参議院議員（現党幹事長）の後を受け、新たな県代表に、わたくし矢倉かつおが選任されました。200名を超える埼玉県本部所属議員の皆様と力を合わせて、埼玉県のため、国のために、この身をなげうって働いてまいる決意です。今まで以上に、皆様の声を伺いながら、地域の課題解決のために動いてまいります。よろしくお願いいたします！



## 2025年夏の参院選予定候補として公認！

2025年7月に予定されている第27回参議院議員選挙において、わたくし矢倉かつおは埼玉選挙区における予定候補として公認をいただき、3期目に挑戦いたします！

まずは、政治の信頼回復のため、改革の先頭に立って走ってまいります。

そして、《大衆福祉の公明党》《日本の柱公明党》の誇りを持ち、真の中道政治の実現のため、**合意形成をはかる政治姿勢を貫き、つながり支え合う社会をつくり上げる決意です。**

引き続きのご指導を、よろしくお願いいたします！



# 予算委員会(TV 中継)にて質問！

12月6日、参議院予算委員会において、参議院公明党のトップバッターとして矢倉かつおが石破総理をはじめ各閣僚に質問しました。一部ですが、質疑内容についてご紹介します。質問の最後では「『大衆とともに』の結党精神のもと、自他共の幸福社会の実現に全力をあげる！」と宣言。是非、動画もご覧ください。 →



## 政治の信頼回復に全力を

「政治不信は国を滅ぼす！」と政治とカネの問題を始め、政治不信の払拭にかける石破総理の決意を質しました。石破総理からは、私の第三者委員会の役割に関する提案等も含め、「ここまでやれば厳正である。間違いはない。」と国民に理解してもらえる体制を各党と議論し目指していく、との決意が述べられました。

## 幅広い生活者を守る政策を

「生活に負担感を感じているのは国民全員である！」とデータを用いて指摘。これまでの公明党の取組みを紹介しながら、各種施策において所得制限を緩和・撤廃し、大都市圏と地方でサービスの差がないよう国が無償化を進めていくことなどを求めました。石破総理は、もっともな指摘とし、自治体の財政力の違いにより、教育などのサービスに差が出ないように、国の関与の議論をしていく必要がある。加藤財務大臣からは、納税者の納得が大切。単身世帯の増加等、昔とは違う状況も勘案し、所得制限のあり方などの確な対応が必要、との答弁がありました。

## 東京と地方の税収格差の適正な是正を

ネット取引が急拡大する中、東京に電子商取引（Eコマース）会社が集中していること等から、東京の税収が全国の増加額の85%を占めるほど急増。埼玉をはじめ東京を支える道府県も共通の利益となるよう税の偏在の是正を訴えました。石破総理は、強い共感を示し、「全体的な税体系、日本国のあり方を議論し早急に答えを出す！」との答弁がありました。

## 高校生の扶養控除維持を求める

高校生年代の子どもがいる家庭の教育費負担が14.2%と非常に大きい事を指摘。その上で、高校生年代がいる世帯の扶養控除額の縮小が議論されているのはおかしいと強く訴えました。石破総理からは、前向きな答弁があり、質問から6日後、縮小は見送られる方向になりました！

## 保育などへの交付金の地域区分の見直しを

国から保育園等に支給される交付金が地域区分見直しにより、東京23区20%、埼玉県4%へとさらに差が広がる可能性を指摘。人材流出を防ぐ観点からも、基準の見直しを強く求めました。石破総理から、格差是正の必要性を共有した上で、その場で、こども家庭庁三原じゅん子大臣に対し、これらの課題に対して成案をまとめるようにとの指示がありました！